

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：10月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●11月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、**10月の訪日外客総数(推計値)は251万6,500人**であった(前月：218万4,300人)。韓国や台湾など中国を除くアジア地域からの訪日外客数の増加もあり、**2019年同月比+0.8%と初めてコロナ禍前を上回った**(前月：同-3.9%)。なお、**中国人客を除いた総数は226万200人(同+28.0%)、4カ月連続でコロナ禍前を上回っている**。また、同月の**出国日本人数は93万7,700人**で、**3カ月ぶりに100万人を下回る水準**となった。19年同月比では-43.6%と前月(同-42.6%)からマイナス幅は幾分拡大した。

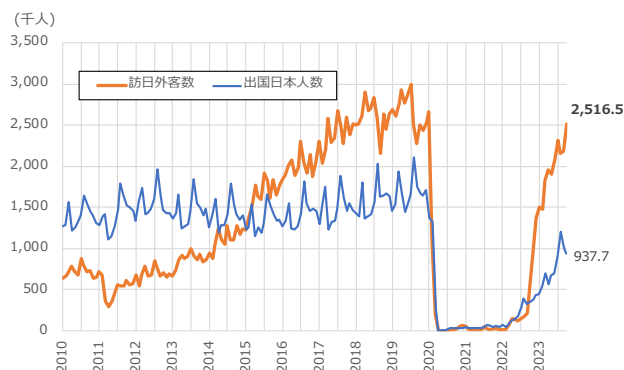
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、10月は**韓国が63万1,100人**(2019年同月比+219.9%)と**最多であった**。次いで台湾が42万4,800人(同+2.7%)、中国が25万6,300人(同-64.9%)、米国が21万1,900人(同+38.2%)、香港が17万9,300人(同-0.7%)と続く(図2及び表4)。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、8月は215万7,190人**となった(2019年同月比-14.4%)(図3及び表5)。うち、**観光客は189万7,129人**となり、**コロナ禍前の8割強(同-14.0%)を回復した**。**商用客は7万4,600人(同-34.0%)、その他客は18万5,461人(同-7.4%)**であった。

▶観光客のTOP5を国・地域別にみれば、8月は**韓国が54万959人**(2019年同月比+105.8%)と**最多であった**。次いで台湾が38万3,880人(同-4.5%)、中国が28万4,411人(同-68.7%)、香港が20万2,911人(同+8.9%)、米国が12万2,898人(同+31.2%)と続く(表5)。19年同月比では**米国が7カ月連続で、韓国、香港は2カ月連続でそれぞれプラス**となった。

▶国土交通省が公表した2023年冬期運航スケジュール(10月29日～24年3月30日)によれば、国際線の旅客便は週4,311便とコロナ禍前の8割程度(19年同期比-17%)を回復した。航空便を方面別にみれば、韓国が週1,130便(同+45%)、米国が週326便(同+10%)とコロナ禍前を上回った。また、台湾は週543便(同-15%)、香港は週369便(同-12%)とコロナ禍前を回復しつつある。一方、中国は週604便と夏期スケジュール(151便)より増加しているものの、依然コロナ禍前の4割程度(同-57%)の回復にとどまっており戻りは遅い。このため、中国を除くアジア地域を中心に引き続き回復が見込まれる一方、中国人客の回復は緩やかなものととどまろう。

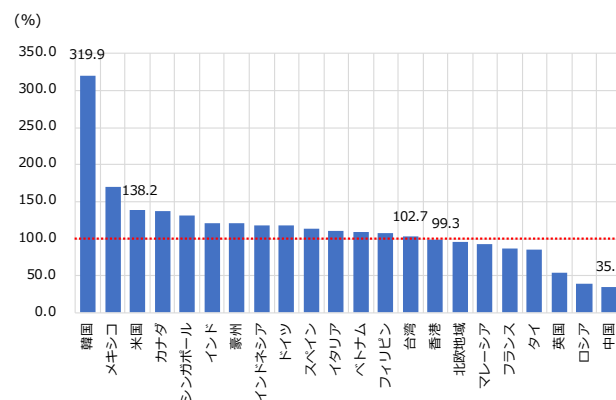
図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2022年まで確定値、23年1-8月は暫定値、23年9-10月は推計値

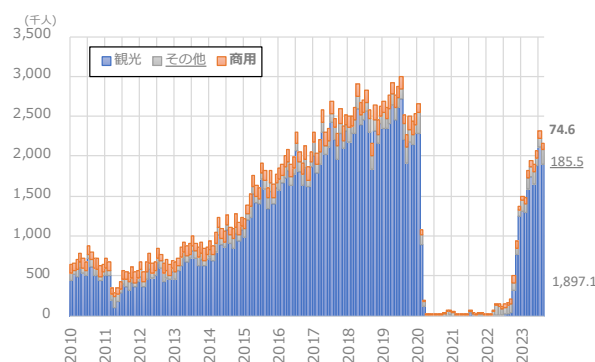
図2 国・地域別コロナ禍前の回復比較：2023年10月



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

注) 韓国の大幅増加は19年同月の日韓関係悪化の影響が含まれる。

図3 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

●10月関西の財貨・サービス貿易及び9月のサービス産業動向

▶**関西 10月の輸出額は**前年同月比-8.8%と**6カ月連続で減少**し、前月(同-2.2%)から減少幅が拡大した。また、**輸入額**も同-14.9%と**7カ月連続で減少**し、6カ月連続の2桁マイナスとなった(前月：同-15.7%)。輸出入いずれも減少したが、輸入の減少幅が輸出のそれを大きく上回ったため、10月の**貿易収支は+1,794億円**と、**9カ月連続の黒字**。黒字幅は同+171.2%拡大した(図4)。

▶**対中貿易動向**をみると、**関西 10月の対中輸出**は前年同月比-4.4%と**6カ月連続で減少**だが、減少幅は前月(同-7.1%)から縮小した。輸出減に寄与したのは半導体等電子部品や電気回路の機器等であった。また、**対中輸入**は同-14.5%と**6カ月連続の減少**(前月：同-5.9%)。輸入減に寄与したのは衣類及び同附属品や事務用機器等であった(図5)。2023年5月以降、対中貿易の停滞が続いている。

▶**10月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数**は65万5,571人であった(前月：59万1,610人)。2019年同月比では+0.6%と、前月(同-1.4%)からプラスに転じ、**初めてコロナ禍前を回復**した。また、同月の日本人出国者数は16万2,984人であった。2019年同月比では-49.5%と、前月(同-47.4%)からマイナス幅は幾分拡大した(図6)。

▶**9月のサービス業の活動は悪化だが、持ち直しの傾向は維持**。サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数**(季節調整済み：2015年平均=100)をみれば(図7)、9月は101.3で前月比-1.0%低下し、**3カ月ぶりのマイナス**となった(前月：同+0.7%)。また、**対面型サービス業指数***は96.3で同-1.2%低下し、2カ月連続のマイナス(前月：同-0.5%)。うち、飲食店、飲食サービス業(同-7.4%、3カ月ぶり)が低下に寄与した。結果、**7-9月期の第3次産業活動指数**は101.7で、前期比+0.7%上昇し、**3四半期連続のプラス**(4-6月期：同+0.6%)。また、**対面型サービス業**は97.2で、同+3.8%上昇し、**2四半期ぶりのプラス**となった(4-6月期：同-0.2%)。

▶**観光関連指数****(2015年平均=100)は、9月は91.7と前月比-1.9%低下し、3カ月ぶりのマイナス(前月：同+3.8%)(図7)。うち、**旅行業**(同-18.1%、3カ月ぶり)が低下に寄与した。結果、**7-9月期は91.8**で、前期比+2.0%上昇し、**2四半期ぶりのプラス**となった(4-6月期：同-0.9%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

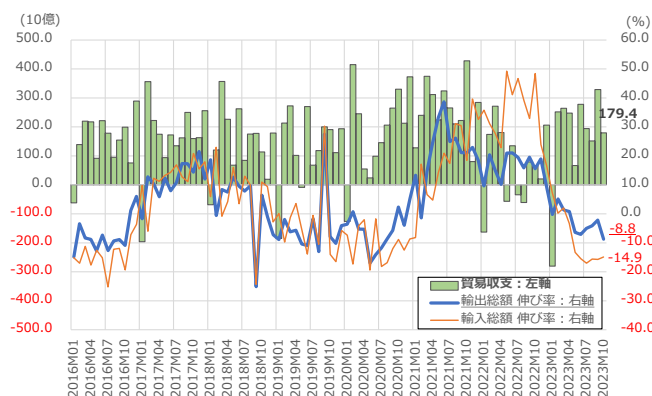
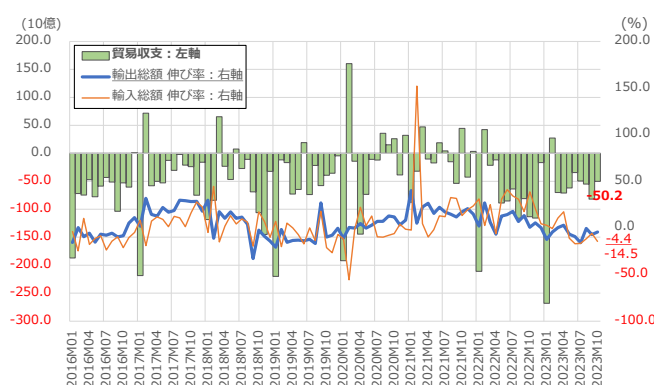
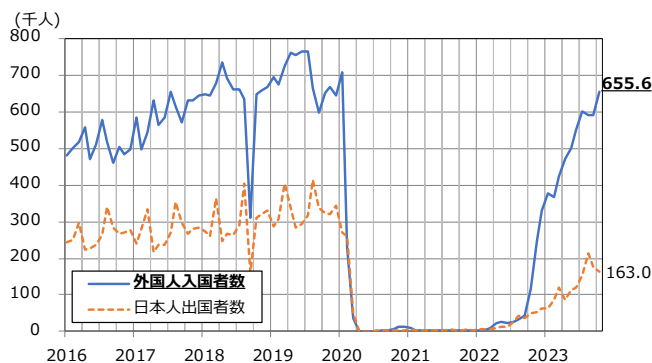


図5 関西 対中貿易の推移



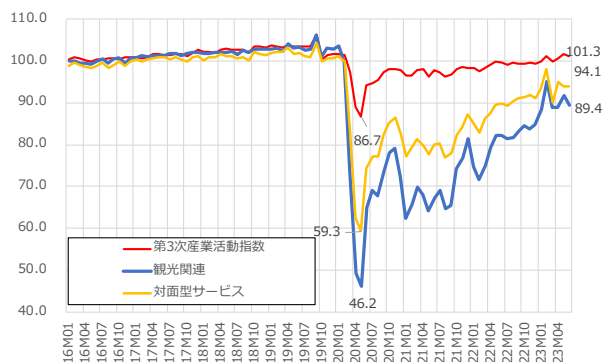
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2023年10月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業：2015年=100



出所：経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●8月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、8月の**関西2府8県の延べ宿泊者数**(全体)は12,017.0千人泊であった(表1)。2019年同月比では-5.7%と8カ月連続で減少し、前月(同-3.1%)から減少幅は拡大した。なお、2府4県ベースでも同-1.4%と2カ月ぶりの減少となっている。

▶8月の**日本人延べ宿泊者数**は9,058.2千人泊となった。**2019年同月比-8.4%と5カ月連続で減少し、前月(同-4.3%)から減少幅は拡大。日本人宿泊者の回復ペースは鈍化している**(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府3,023.7千人泊、京都府1,722.4千人泊、兵庫県1,484.1千人泊、三重県723.6千人泊、和歌山518.1千人泊、滋賀県477.9千人泊、福井県396.6千人泊、鳥取県255.1千人泊、徳島県229.6千人泊、奈良県227.1千人泊であった。2019年同月比をみれば、**京都府が同+2.6%と3カ月連続のプラス**となった一方で、**その他府県ではマイナス**となった。

▶8月の**外国人延べ宿泊者数**は2,958.8千人泊となった。2019年同月比+3.7%と、**コロナ禍前を初めて回復した**(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府1,704.0千人泊、京都府1,041.8千人泊、兵庫県74.6千人泊、和歌山県46.6千人泊、奈良県32.7千人泊、滋賀県20.4千人泊、三重県13.0千人泊、徳島県11.3千人泊、鳥取県9.3千人泊、福井県5.2千人泊であった。2019年同月比でみると、**京都府(同+0.5%)と大阪府(同+12.0%)がいずれも2カ月連続のプラス**となった。

▶**関西2府8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,812.8千人泊、県外9,881.2千人泊であった。2019年同月比をみれば、県内は同+5.8%と23カ月連続のプラスとなった(前月：同+12.4%)。一方、県外は同-3.5%と前月(同-1.8%)から減少幅が拡大した。**

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

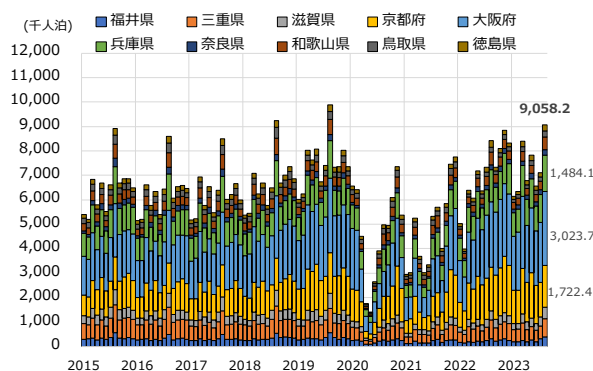


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

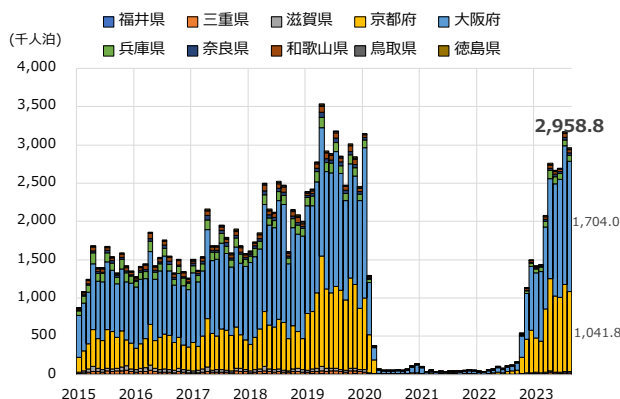
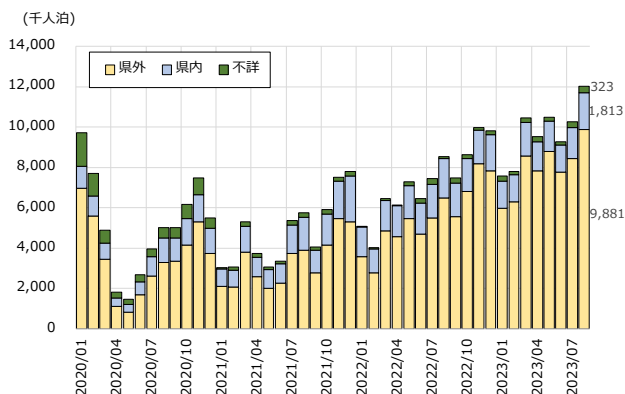


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：8月

2023年8月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 8月(%)	19年比伸び率： 7月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 8月(%)	19年比伸び率： 7月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 8月(%)	19年比伸び率： 7月(%)
福井県	401.8	-30.1	-16.1	396.6	-30.2	-15.8	5.2	-17.0	-34.4
三重県	736.7	-28.2	-27.3	723.6	-27.0	-25.0	13.0	-63.0	-65.6
滋賀県	498.3	-21.3	-10.2	477.9	-21.2	-7.2	20.4	-23.4	-44.6
京都府	2,764.2	1.8	3.4	1,722.4	2.6	1.0	1,041.8	0.5	6.5
大阪府	4,727.8	3.5	1.8	3,023.7	-0.8	0.9	1,704.0	12.0	3.0
兵庫県	1,558.7	-3.9	0.8	1,484.1	-2.5	5.0	74.6	-25.4	-35.6
奈良県	259.7	-13.0	-3.6	227.1	-7.4	11.1	32.7	-38.6	-46.7
和歌山県	564.6	-17.7	-14.5	518.1	-18.6	-14.4	46.6	-5.6	-14.6
鳥取県	264.4	-18.7	-26.8	255.1	-18.4	-24.2	9.3	-27.2	-59.1
徳島県	240.9	-16.7	-20.2	229.6	-17.0	-21.8	11.3	-11.3	14.2
関西2府4県	10,373.3	-1.4	0.5	7,453.3	-3.7	0.3	2,920.0	4.8	0.9
関西2府8県	12,017.0	-5.7	-3.1	9,058.2	-8.4	-4.3	2,958.8	3.7	-0.4
全国	61,023.9	-3.5	1.5	50,928.9	-5.2	1.8	10,095.1	6.4	0.1

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8～10 及び表1)

トピックス 3

●2023 年 7-9 月期国内旅行消費の動向：関西 2 府 8 県*

▶観光庁によれば、**2023 年 7-9 月期関西(2 府 8 県ベース)の国内旅行消費額(速報)**は 1 兆 614 億円であった(表 2)。2019 年同期比-0.4%と **2 四半期連続のマイナス**だが、4-6 月期(同-16.2%)からマイナス幅は縮小した。夏季休暇による旅行需要の増加もあり、宿泊旅行消費額が増加に寄与した。

▶うち、7-9 月期の**宿泊旅行消費額は 8,511 億円**で、2019 年同期比+6.3%と **2 四半期ぶりのプラス**(4-6 月期：同-0.4%)(図 11 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、大阪府が 2,431 億円(同+15.9%)と最も多く、次いで京都府が 1,547 億円(同+19.5%)、兵庫県が 1,544 億円(同+2.3%)、三重県が 895 億円(同+17.6%)、和歌山県が 674 億円(同-3.4%)と続く。19 年同期比をみれば、福井県、奈良県、和歌山県と徳島県以外の府県がプラスとなり、中でも**大阪府と京都府の宿泊旅行消費額の増加に大きく寄与した**。

▶うち、7-9 月期の**日帰り旅行消費額は 2,103 億円**となった。2019 年同期比-20.5%と 4-6 月期(同-49.2%)から**マイナス幅は縮小**したが、宿泊旅行消費額に比して回復のペースは遅い(図 12 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、大阪府が 478 億円(同-29.7%)と最も多く、次いで京都府が 405 億円(同+17.3%)、兵庫県が 364 億円(同-31.2%)、福井県が 228 億円(同+189.8%)、滋賀県が 213 億円(同+5.4%)と続く。19 年同期比でみれば、**福井県、滋賀県、京都府や奈良県(同+76.9%)はそれぞれプラス**となったが、**その他府県ではマイナス**となった。

*トピックス 3 は四半期ごとの掲載である。

図 11 関西 2 府 8 県 宿泊旅行消費額の推移

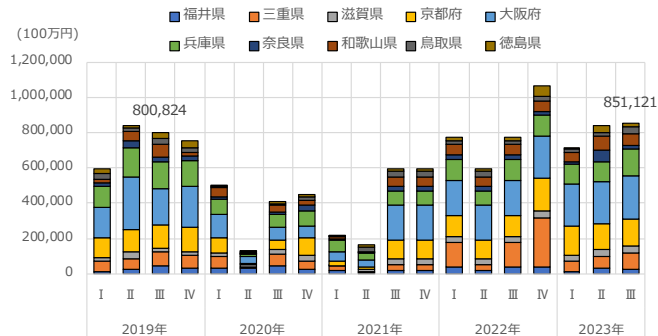
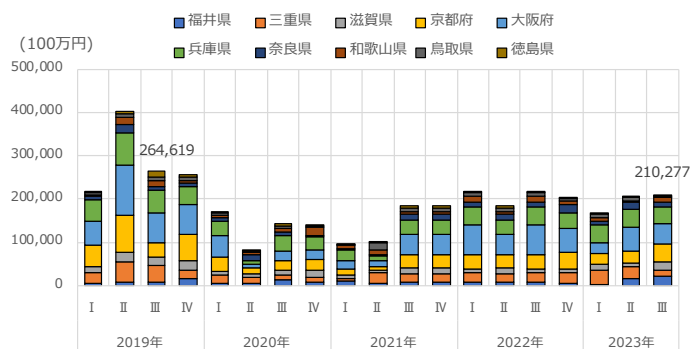


図 12 関西 2 府 8 県 日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。

2022 年、23 年 4-6 月期までのデータは確報。23 年 7-9 月期は速報(上図も同様)。

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 2 関西 国内旅行消費額：2023 年 7-9 月

2023Q3	国内旅行消費額			宿泊旅行消費額			日帰り旅行消費額		
	金額： 100万円	伸び率： 19年7-9月期比 (%)	伸び率： 19年4-6月期比 (%)	金額： 100万円	伸び率： 19年7-9月期比 (%)	伸び率： 19年4-6月期比 (%)	金額： 100万円	伸び率： 19年7-9月期比 (%)	伸び率： 19年4-6月期比 (%)
福井県	50,003	-7.8	30.4	27,199	-41.3	13.0	22,804	189.8	91.6
三重県	101,145	-10.7	-13.1	89,503	17.6	9.4	11,642	-68.7	-41.6
滋賀県	60,758	39.9	-9.0	39,454	70.0	17.9	21,304	5.4	-52.1
京都府	195,181	19.0	-19.6	154,707	19.5	13.4	40,474	17.3	-68.8
大阪府	290,948	4.7	-29.1	243,106	15.9	-19.9	47,842	-29.7	-52.6
兵庫県	190,802	-6.4	-36.2	154,396	2.3	-31.7	36,406	-31.2	-46.2
奈良県	29,616	-13.0	39.1	16,785	-37.3	57.8	12,831	76.9	-4.6
和歌山県	78,579	-5.1	12.2	67,360	-3.4	43.5	11,218	-13.9	-79.0
鳥取県	40,919	-6.0	40.3	37,884	8.4	68.1	3,035	-64.6	-12.2
徳島県	23,449	-51.6	58.4	20,728	-38.0	95.9	2,720	-81.9	-60.0
関西2府8県	1,061,398	-0.4	-16.2	851,121	6.3	-0.4	210,277	-20.5	-49.2

出所：観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表3 2023年10月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	10月	10月		1-10月	1-10月	
総数	2,496,568	2,516,500	0.8	26,914,388	19,891,100	-26.1
総数(中国除く)	1,765,937	2,260,200	28.0	18,781,179	18,036,900	-4.0
韓国	197,281	631,100	219.9	5,131,596	5,525,900	7.7
中国	730,631	256,300	-64.9	8,133,209	1,854,200	-77.2
台湾	413,701	424,800	2.7	4,150,231	3,399,400	-18.1
香港	180,562	179,300	-0.7	1,841,448	1,662,800	-9.7
タイ	145,333	124,600	-14.3	1,013,776	755,700	-25.5
シンガポール	41,937	55,100	31.4	326,581	391,500	19.9
マレーシア	48,864	45,200	-7.5	358,355	303,500	-15.3
インドネシア	34,094	40,300	18.2	316,363	323,500	2.3
フィリピン	64,690	69,200	7.0	466,809	479,500	2.7
ベトナム	46,510	50,400	8.4	422,553	490,000	16.0
インド	13,929	16,800	20.6	149,294	136,300	-8.7
豪州	51,563	62,000	20.2	500,791	464,000	-7.3
米国	153,363	211,900	38.2	1,430,370	1,677,900	17.3
カナダ	37,667	51,700	37.3	306,814	350,400	14.2
メキシコ	7,385	12,500	69.3	58,752	75,700	28.8
英国	68,401	37,400	-45.3	358,820	268,100	-25.3
フランス	39,457	34,400	-12.8	291,782	235,500	-19.3
ドイツ	26,276	30,900	17.6	203,380	203,000	-0.2
イタリア	14,731	16,300	10.7	139,223	128,300	-7.8
スペイン	13,739	15,500	12.8	112,413	98,500	-12.4
ロシア	14,348	5,700	-60.3	98,068	32,800	-66.6
北欧地域	15,094	14,400	-4.6	118,974	96,200	-19.1
中東地域	11,955	10,200	-14.7	79,770	94,300	18.2
その他	125,057	120,500	-3.6	905,016	844,100	-6.7

表4 2023年8月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	8月	8月		8月	8月		8月	8月		8月	8月	
総数	2,520,134	2,157,190	-14.4	2,206,746	1,897,129	-14.0	113,052	74,600	-34.0	200,336	185,461	-7.4
韓国	308,730	569,092	84.3	262,847	540,959	105.8	18,866	11,802	-37.4	27,017	16,331	-39.6
中国	1,000,639	364,228	-63.6	909,161	284,411	-68.7	27,069	21,397	-21.0	64,409	58,420	-9.3
台湾	420,279	396,346	-5.7	401,901	383,880	-4.5	8,278	5,386	-34.9	10,100	7,080	-29.9
香港	190,260	206,267	8.4	186,357	202,911	8.9	2,398	1,386	-42.2	1,505	1,970	30.9
タイ	49,589	33,166	-33.1	43,631	28,544	-34.6	2,444	1,536	-37.2	3,514	3,086	-12.2
シンガポール	19,698	20,276	2.9	16,930	18,491	9.2	2,132	1,268	-40.5	636	517	-18.7
マレーシア	19,827	19,206	-3.1	16,173	16,904	4.5	1,790	1,003	-44.0	1,864	1,299	-30.3
インドネシア	16,160	20,792	28.7	9,056	10,246	13.1	2,055	1,225	-40.4	5,049	9,321	84.6
フィリピン	31,470	38,627	22.7	22,733	28,892	27.1	1,771	2,408	36.0	6,966	7,327	5.2
ベトナム	43,709	50,945	16.6	11,989	13,012	8.5	2,894	2,452	-15.3	28,826	35,481	23.1
インド	13,308	12,826	-3.6	4,424	5,574	26.0	4,161	3,044	-26.8	4,723	4,208	-10.9
豪州	26,951	27,565	2.3	23,059	25,094	8.8	2,224	1,317	-40.8	1,668	1,154	-30.8
米国	117,828	138,362	17.4	93,681	122,898	31.2	13,233	7,166	-45.8	10,914	8,298	-24.0
カナダ	27,568	36,859	33.7	24,504	34,874	42.3	1,192	553	-53.6	1,872	1,432	-23.5
メキシコ	4,800	8,238	71.6	4,261	7,740	81.6	242	179	-26.0	297	319	7.4
英国	26,213	23,837	-9.1	19,895	20,105	1.1	3,237	1,320	-59.2	3,081	2,412	-21.7
フランス	30,851	25,866	-16.2	26,231	22,667	-13.6	1,813	1,063	-41.4	2,807	2,136	-23.9
ドイツ	17,264	19,999	15.8	12,767	16,959	32.8	2,962	1,803	-39.1	1,535	1,237	-19.4
イタリア	22,804	24,113	5.7	21,176	22,872	8.0	857	621	-27.5	771	620	-19.6
ロシア	8,321	3,355	-59.7	5,976	2,308	-61.4	1,319	366	-72.3	1,026	681	-33.6
スペイン	20,009	17,283	-13.6	19,029	16,580	-12.9	432	250	-42.1	548	453	-17.3
中東地域	6,254	8,701	39.1	4,902	7,578	54.6	669	539	-19.4	683	584	-14.5
その他	97,602	91,241	-6.5	66,063	63,630	-3.7	11,014	6,516	-40.8	20,525	21,095	2.8

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2023年11月15日付より筆者加工